

研究課題	ブドウ無加温ハウス栽培における有望品種の選定
背景・ねらい	夏場の高温などにより、黒系・赤系のブドウが着色不良となりやすい中、白系の‘シャインマスカット’が生産量を増やしてきたが、生産過剰による価格の下落が懸念されている。一方、黒色や赤色系ブドウにおいても一定量の需要は見込まれ、高温環境下において安定栽培可能な品種の選定が望まれている。
担当者名	鍋田 慎介・山澤 勉・滝沢 秀樹
研究期間	2023～（2年目）

1 目的

新潟市内の無加温ハウス栽培に適した有望品種を選定する。

2 方法

(1) 試験場所

センターパイプハウスほ場（ブドウハウス南側），砂壤土

(2) 供試品種

- ・ 紫黒色系：巨峰（10）涼香（2），グロースクローネ（2），BK シードレス（2），ナガノパープル（2）
- ・ 赤色系：クイーンニーナ（10），バイオレットキング（2），マイハート（2）
- ・ 緑黄色系：シャインマスカット（10），ジュエルマスカット（2），マスカサーティーン（1）

(3) 耕種概要

ア 栽植様式

無加温ハウス（被覆期間3月下旬～7月上旬），アーチ栽培，株間1.5 m

イ 施肥等

年間肥料成分 kg/10 a：N:P₂O₅:K₂O=4.0：4.0：5.0

土壌管理：雑草草生，適宜かん水

ウ その他

病虫害防除：「果樹防除ハンドブック（新潟県果樹振興協会発行）」に準ずる。

(4) 調査項目

発芽期，開花期，収穫時期，収穫量，果実品質等

3 結果

(1) 紫黒色系品種（樹齢）

・ 巨峰（10）

発芽期：4月13日 満開期：5月23日 収穫期：8月26日頃

実収穫量（kg）：69.6 実収穫量（房）：132

房重（g）：370.0 粒数（個/房）13.7 糖度（%）：17.6 酸度（pH）：3.7

果皮色（c.c）：3.8

・ 涼香（2）

発芽期：4月13日 満開期：5月23日 収穫期：8月13日頃

実収穫量（kg）：1.8 実収穫量（房）：12 房重（g）：153.3 糖度（Brix %）：19.2

酸度（pH）：3.8 果皮色（c.c）：8.0

- ・グロースクローネ (2)
発芽期：4月15日 満開期：5月23日 収穫期：8月13日頃
実収穫量 (kg)：1.9 実収穫量 (房)：11
房重 (g)：152.9 糖度 (Brix %)：21.1 酸度 (pH)：3.8 果皮色 (c.c)：9.6
- ・BK シードレス (2)
発芽期：4月15日 満開期：5月23日 収穫期：8月13日頃
実収穫量 (kg)：3.0 実収穫量 (房)：20 房重 (g)：147.5 糖度 (Brix %)：17.9
酸度 (pH)：3.6 果皮色 (c.c)：8.6
- ・ナガノパープル (2)
発芽期：4月13日 開花：なし 収穫：なし

(2) 赤色系品種 (樹齢)

- ・クイーンニーナ (10)
発芽期：4月16日 満開期：5月27日 収穫期：8月26日～9月2日頃
実収穫量 (kg)：62.9 実収穫量 (房)：133
房重 (g)：472.4 粒数 (個/房)：22.2 糖度 (Brix %)：21.8 酸度 (pH)：4.1
果皮色 (c.c)：2.1
- ・バイオレットキング (2)
発芽期：4月13日 満開期：5月23日 収穫期：8月27日頃
実収穫量 (kg)：4.4 実収穫量 (房)：10 房重 (g)：405.6 糖度 (Brix %)：20.8
酸度 (pH)：3.9 果皮色 (c.c)：2.5
- ・マイハート (2)
発芽期：4月13日 満開期：5月23日 収穫期：8月27日頃
実収穫量 (kg)：0.4 実収穫量 (房)：3
房重 (g)：119.8 糖度 (Brix %)：21.7 酸度 (pH)：4.1 果皮色 (c.c)：6.0

(3) 緑黄色系品種

- ・シャインマスカット (10)
発芽期：4月13日 満開期：5月27日 収穫期：9月2日頃
実収穫量 (kg)：44.4 実収穫量 (房)：114 房重 (g)：518.5 粒数 (個/房)：31
糖度 (Brix %)：18.8 酸度 (pH)：4.0 果皮色 (c.c)：5.1
- ・ジュエルマスカット (2)
発芽期：4月13日 満開期：5月23日 収穫期：8月27日頃
実収穫量 (kg)：1.7 実収穫量 (房)：5 房重 (g)：347.6 糖度 (Brix %)：19.9
酸度 (pH)：4.3 果皮色 (c.c)：6.0
- ・マスカーティーン (1)
発芽期：4月16日 開花：なし 収穫：なし

(4) 考察とまとめ

試験開始年次に植栽したものが2年生となり、品種によっては僅かながら果実を見ることができた。‘バイオレットキング’‘ジュエルマスカット’は果房重が300g以上となり、味や外観も優れていた。その他の2年生は果房重100g～150gほどで、まだ本来の果実にはなっていない。来年度以降も調査を継続する。